



「お節会」は連日、午前10時に開場。来場者は素朴なすまし雑煮に舌鼓を打ち、親里ならではの「新春の団樂^{だんらん}」を味わった

新春の親里「伝統行事」に4万5689人

天理教教会本部「お節会」

「新春の風物詩」である天理教教会本部（奈良県天理市）の「お節会^{せち}」が、1月5日から7日まで開かれた。

教祖が現身^{うつしみ}をもってお働きくださっていた時代から続くこの伝統行事は、正月三が日、本部神殿にお供えされた鏡餅を、1月4日の「鏡開き」でほどよい大きさに切り分け、

すまし汁仕立ての雑煮にして振る舞うもの。

3日間で4万5689人が来場。神苑一帯に長蛇の列ができるなど、親里は連日大いににぎわった。なお期間中は、全国から集まった信者や親里で学ぶ学生ら約5000人が真心を込めて、会場準備や接待、誘導などの世話取りに当たった。

